補 足

- データフォルダが一杯の場合は録画できません。録画する場合は、データフォルダの不要なファイルを消去するか(☞10-20ページ)、保存先をメモリカードに変更してください。
- 録画した画像を自動登録したり、登録するフォルダを設定することができます(☞6-28ページ)。
- 操作*1*の画面や登録後の撮影画面で、Menu(メニュー)を押したあと「**データ閲覧**」を選択して、閲覧可能なファイルを消去することができます。
- 操作*3*のあとMenu(メニュー)を押して、保存先変更の操作を行うことができます(録画した画像にのみ有効)。ハンディビデオ(MPEG)では変更できません。
- カメラ/ムービー起動中に無操作の状態で約1分50秒経過すると、待受画面に戻ります。

■動画撮影で利用できる機能

機能設定	内　容	参照ページ
フレーム撮影	ビデオ用フレームを設定できます。	☞6-23ページ
画像効果	画像の色調を設定できます。	☞6-27ページ
フラッシュ	暗い場所でも撮影できます。	☞6-5ページ
ズーム	撮影画像の倍率を切り替えます。	☞6-5ページ

カメラ/ムービー設定

■カメラ設定

モバイルカメラ利用時の各種設定を行うことができます。

- ・**フレーム撮影**(☞下記)
- ・**旅モード**(☞6-16ページ)
- ・**アニメーション作成**(☞6-18ページ)
- ・**JPEG設定**(☞6-19ページ)
- ・**らくがき**(☞6-21ページ)
- ・**切り抜き精度**(☞6-23ページ)
- ・**日付スタンプ**(☞6-15ページ)
- ・**連写モード**(☞6-17ページ)
- ・**タイマー撮影**(☞6-19ページ)
- ・**シャッター音**(☞6-20ページ)
- ・**撮影ガイド変更**(☞6-22ページ)

フレームを設定する

写メールモードでは、画像の枠に貼り付ける飾りを設定して撮影することができます。撮影サイズについては6-26ページを参照してください。
フレームは10種類から選択できます。また「**データフォルダ**」※から選択することもできます。
※データフォルダの「**ピクチャー**」、「**etc**」と自作フォルダからV502T専用のウェブサイト(☞Vodafone live!編)やウェブからダウンロードしたフレームを選択できます。また、「**オリジナルフレーム**」からバーチャルウィッグやピクチャーつく〜るのフレーム作成で作成したフレームを選択できます。
お買い上げ時は「**フレームなし**」に設定されています。

1 次の操作でフレーム設定画面を呼び出す

① 撮影画面(☞6-7ページ)を表示する
② Menu(メニュー)を押す
③ ◎で「**フレーム撮影**」を選択し、●を押す

2 ◎で設定したいフレームを選択し、✎(確認)を押す

▶フレームが表示されます。
- ＊、＃または◎で他のフレームに切り替え表示します。

3 ●を押す

▶撮影画面にフレームが設定されます。

重 要

- 旅モード(☞6-16ページ)、日付スタンプ(☞下記)を設定している場合は、フレームの設定はできません。
- フレーム設定は、撮影サイズが11行:待受1、W144×H176、W120×H160以外では設定できません。
- メモリカードに保存する場合、本体保存時よりも画質が落ちる可能性があります。
- メモリカードからフレームを設定することはできません。

補 足

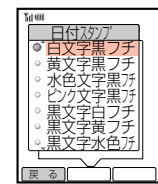
フレーム設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**フレームなし**」に戻ります。

日付スタンプを設定する

写メールモードでは、撮影画像に日付スタンプを入れることができます。スタンプの文字の種類は8種類から選択することができます。日付スタンプ設定をご利用になるには、あらかじめ時計設定(☞1-17ページ)の操作を行ってください。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

1 次の操作で日付スタンプ設定画面を呼び出す

① 撮影画面(☞6-7ページ)を表示する
② Menu(メニュー)を押す
③ ◎で「**日付スタンプ**」を選択し、●を押す

2 ◎で「ON」を選択し、●を押す

3 ◎で設定したい文字の種類を選択し、●を押す

▶撮影画面の右下に日付が表示されます。

重要

- 旅モード（☞下記）、フレーム（☞6-14ページ）を設定している場合は、日付スタンプの設定はできません。
- 日付スタンプ設定は、撮影サイズが、11行：待受1、W144×H176、W120×H160以外では設定できません。

補足

日付スタンプ設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。

旅モードで撮影する

写メールモードでは、旅モード設定により日付と位置情報を画像に貼り付けることができます。

1 撮影画面（☞6-7ページ）より、[Menu]（[メニュー]）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 ◎で「旅モード」を選択し、●を押す

▶旅モード設定画面が表示されます。

3 ◎で「ON」を選択し、●を押す

▶旅モード撮影画面が表示されます。
- 通常モードに戻すには操作*1*、*2*のあと「**OFF**」を選択し、●を押します。
- 撮影画面での操作については6-4ページを参照してください。

4 撮影したい画像をディスプレイに表示し、●を押す

▶シャッター音が鳴り、撮影した画像と日時・位置情報が表示されます。
- 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、[Clear メモ]を押したあと「**破棄する**」を選択し、●を押します。

5 ●を押す

▶撮影した画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。
- 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

重要

- フレーム（☞6-14ページ）、日付スタンプ（☞6-15ページ）を設定している場合は、旅モードの設定はできません。
- 旅モード設定は、撮影サイズが11行：待受1、W144×H176、W120×H160以外では設定できません。
- ステーションの位置情報（☞Vodafone live!編）を取得していない場合は、位置情報は表示されません。位置情報は自動的に更新されますが、正しく表示されない場合は、手動で更新してください。
- メモリカードに保存する場合、本体保存時よりも画質が落ちる可能性があります。

補足

- 撮影した画像を自動登録したり、登録するフォルダを設定することができます（☞6-28ページ）。
- カメラ起動中に無操作の状態で約1分50秒経過すると、待受画面に戻ります。
- 旅モード設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。

連写モードで撮影する

写メールモードでは、連写モードに切り替えることにより、連続して9枚の画像を撮影することができます。また、連写モードでは連続して撮影される時間の間隔（連写スピード）を3種類の中から選択することができます。

1 次の操作で連写モード設定画面を呼び出す

① 撮影画面（☞6-7ページ）を表示する

② [Menu]（[メニュー]）を押す

③ ◎で「**連写モード**」を選択し、●を押す

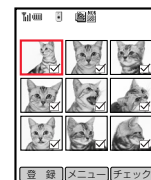
2 ◎で設定したい連写モードを選択し、●を押す

▶連写撮影画面が表示されます。

3 撮影したい画像をディスプレイに表示し、●を押す

▶シャッター音が鳴り、画像が連続して撮影されます。
- 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
- [o]（[中止]）または下サイドキーを押すと、撮影を中止します。

▶撮影した画像が表示されます。
- 撮影をやり直す場合は、[Clear メモ]を押したあと「**破棄する**」を選択し、●を押します。

6 カメラ／ムービー

4 で不要な画像を選択し、［チェック］を押す

▶選択した画像のチェック（☑）が外れます。
- もう一度［チェック］を押すと画像がチェックされます。
- ●を押すと、画像を実際のサイズで確認できます。

5 ［登録］を押す

▶チェック（☑）している画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。
- 各画像のファイル名には、撮影日時のあとに番号（撮影順に1～9）が付きます。

補足

- 操作5で登録を行うと、チェック（☑）した画像以外に撮影した枚数の画像を縮小して1枚にまとめた画像も同時に登録されます。登録した画像をデータフォルダで確認すると、右のように表示されます。

9枚撮影した場合

- 連写モードを解除する場合は、操作1の画面で「**連写OFF**」を選択したあと●を押します。また、カメラを終了しても解除されます。
- 撮影した画像を自動登録したり、登録するフォルダを設定することができます（☞6-28ページ）。

アニメーションを作成する

連写で撮影した画像からアニメーションを作成することができます。

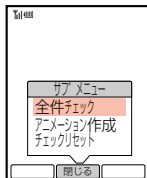
1 連写撮影をする

- 連写撮影については6-17ページの操作1～3を参照してください。

2 で不要な画像を選択し、［チェック］を押す

▶選択した画像のチェック（☑）が外れます。
- 2件以上の画像をチェック（☑）してください。

3 Menu［メニュー］を押す

▶サブメニューが表示されます。

4 で「アニメーション作成」を選択し、●を押す

▶アニメーション作成の確認画面が表示されます。

5 で「YES」を選択し、●を2回押す

▶作成したアニメーションがデータフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

補足

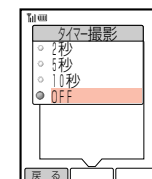
アニメーションを登録した場合は、チェック（☑）した画像と、撮影した枚数の画像を縮小して1枚にまとめた画像もデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

タイマーを設定する

セルフタイマーを設定すると、設定時間経過後に撮影をします。手ぶれを防いだり、自分が入って撮影するときに便利です(バーチャルウィッグモードのフレーム撮影時、バーチャルトリップモードを除く)。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

1 次の操作でタイマー撮影設定画面を呼び出す

① 撮影画面（☞6-7ページ）を表示する
② Menu［メニュー］を押す
③ で「**タイマー撮影**」を選択し、●を押す

タイマー撮影
2秒
5秒
10秒
OFF
戻る

2 で設定したい秒数を選択し、●を押す

▶タイマーが設定されます。

補足

- タイマー設定中にシャッターを押すと、充電ランプが赤く点滅し、設定時間経過後に撮影します。
- タイマー動作中に［戻る］または Clear を押すと撮影を中止します。
- タイマー設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。

画質を設定する

撮影した画像を保存するときの画質を設定することができます（保存形式はJPEG形式です）。高画質であるほど圧縮率が低く、ファイルサイズは大きくなります。
お買い上げ時は「**ノーマル**」に設定されています。

高画質
ファイルサイズ：大

低画質
ファイルサイズ：小

1　次の操作で撮影画面を呼び出す

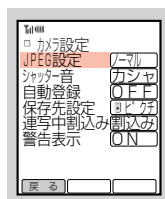
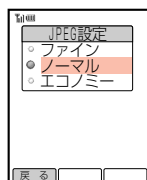
① Menu ◎の順に押す
② ◎で「**カメラ・ムービー**」を選択し、●を押す
③ ◎で「**写メールモード**」を選択し、●を押す

2　Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

3　◎で「カメラ設定」を選択し、●を押す

カメラ設定画面

● デジタルカメラモードの場合は、「**デジタルカメラ設定**」を選択します。

4　◎で「JPEG設定」を選択し、●を押す

5　◎で設定したい画質を選択し、●を押す

▶画質が設定されます。

重 要

JPEG設定は、撮影サイズがサブ液晶サイズの場合は設定できません。「**ファイン**」固定となります。

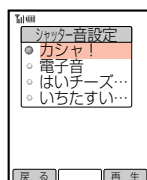
補 足

画質の設定は、カメラモード切り替え時または終了時も保持されます。

シャッター音を設定する

撮影時のシャッター音を4種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**カシャ！**」に設定されています。

1　カメラ設定画面（☞上記）より、◎で「シャッター音」を選択し、●を押す

● （再生）を押すと、選択しているシャッター音が確認できます。

2　◎で設定したいシャッター音を選択し、●を押す

▶シャッター音が設定されます。

重 要

連写撮影時（☞6-17ページ）、シャッター音は設定できません。

補 足

● マナーモードを設定していてもシャッター音は鳴ります。
● シャッター音の設定は、カメラモード切り替え時または終了時も保持されます。

らくがき機能を利用する

撮影した画像にスタンプやテキスト、フレームなどを貼り付けることができます（デジタルカメラモードを除く）。

スタンプを貼り付ける

スタンプは大、中、小、それぞれ10種類から選択できます。また「**スタンプ**」※から選択することもできます。
※ピクチャーつく〜るのスタンプ作成（☞6-44ページ）で作成したスタンプを選択できます。

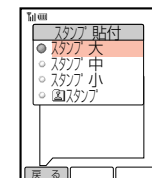
1　静止画を撮影する

● 静止画の撮影については6-7ページの操作*1*〜*4*を参照してください。

2　（らくがき）を押す

▶らくがきメニューが表示されます。

3　◎で「スタンプ貼付」を選択し、●を押す

● 「**テキスト貼付**」については6-39ページを、「**フレーム貼付**」については6-37ページを参照してください。「**オールアンドゥ**」は今まで貼り付けたスタンプ、テキスト、フレームをすべて消去します。

4　◎でスタンプのサイズを選択し、●を押す

▶スタンプ選択画面が表示されます。

5　◎で貼り付けたいスタンプを選択し、●を押す

▶画面中央にスタンプが表示されます。

6 でスタンプを貼り付ける位置を指定し、●を押す

▶スタンプが貼り付けられます。
- を押すたびにスタンプの移動単位は、次のように切り替わります。

→10ドット単位 →30ドット単位 → 1ドット単位

- 続けてスタンプを貼り付ける場合は、この操作を繰り返してください。
- Menu（メニュー）を押して貼り付けたスタンプの消去（**直前アンドゥ**／**オールアンドゥ**）の操作を行うことができます。
- Menu（メニュー）を押してスタンプを変更することができます。

7 （決定）を押し、●を押す

▶データフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

らくがきのフレーム貼付は、撮影サイズによっては貼り付けできない場合があります。

撮影ガイドを変更する

特撮モードでは、切り抜き用の枠のサイズや形を変更することができます。
撮影ガイドは10種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**丸**」に設定されています。

例 バーチャルウィッグモードの撮影ガイドを変更する場合

1 バーチャルウィッグ撮影画面（☞6-9ページ）より、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 で「撮影ガイド変更」を選択し、●を押す

▶撮影ガイド変更画面が表示されます。

3 で設定したい撮影ガイドを選択し、●を押す

▶撮影ガイドが表示されます。
- 、で撮影ガイドのサイズ変更ができます。

補足

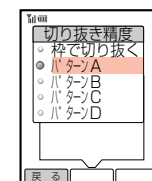
撮影ガイドは、カメラモード切り替え時または終了時「**丸**」に戻ります。

切り抜きの精度を調整する

特撮モードでは、撮影ガイドの形に合わせた輪郭抽出（切り抜き）を行うことができます。被写体により、切り抜き範囲が変わります。パターンA〜Dのいずれかに変更して切り抜きを行います。
切り抜き精度は5種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**パターンA**」に設定されています。

例 バーチャルウィッグモードの切り抜き精度を設定する場合

1 バーチャルウィッグ撮影画面（☞6-9ページ）より、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 で「切り抜き精度」を選択し、●を押す

3 で設定したい切り抜き精度を選択し、●を押す

▶切り抜き精度が設定されます。

設定したパターンにより、画像処理時間が変わります。

補足

- 「**枠で切り抜く**」を選択した場合は、撮影ガイドの形で切り抜きます。
- 切り抜き精度は、カメラモード切り替え時または終了時「**パターンA**」に戻ります。

■ムービー設定

ムービー利用時の各種設定を行うことができます。
・**フレーム撮影**（☞下記）　・**録画設定**（サブ液晶ムービーを除く）（☞6-24ページ）

フレームを設定する

ハンディビデオ（MPEG）、ムービー写メールモード（W128×H96）、サブ液晶ムービーでは、画像の枠に貼り付ける飾りを設定して録画することができます。
フレームは3種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**フレームなし**」に設定されています。

6 カメラ／ムービー

1 次の操作でフレーム撮影画面を呼び出す

① 撮影画面（☞6-13ページ）を表示する

② [Menu]（[メニュー]）を押す

③ (◎)で「**フレーム撮影**」を選択し、(●)を押す

2 (◎)で設定したいフレームを選択し、[↩]（[確認]）を押す

▶フレームが表示されます。

● [*]、[#]または(◎)で他のフレームに切り替え表示します。

3 (●)を押す

▶撮影画面にフレームが設定されます。

補足

フレーム設定は、ムービーモード切り替え時または終了時「**フレームなし**」に戻ります。

音声あり／なしを設定する

ハンディビデオ（MPEG）、ムービー写メールモードでは、音声の有無を設定することができます。
お買い上げ時は「**音あり**」に設定されています。
・ハンディビデオ（MPEG）の録画時間は、データフォルダの空き容量に応じて表示されます。

1 次の操作でムービー設定画面を呼び出す

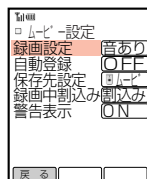
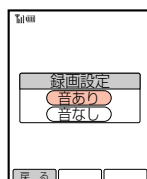
ムービー設定
録画設定 音あり
自動登録 OFF
保存先設定 ムービー
録画中割込み 割込み
警告表示 ON
戻る

① 撮影画面（☞6-13ページ）を表示する

② [Menu]（[メニュー]）を押す

③ (◎)で「**ムービー設定**」を選択し、(●)を押す

● ハンディビデオ（MPEG）の場合は、「**ビデオ設定**」を選択します。

● ハンディビデオ（MPEG）の場合は、「**自動登録**」は表示されません。

2 (◎)で「録画設定」を選択し、(●)を押す

3 (◎)で音声の有無を選択し、(●)を押す

▶音声の有無が設定されます。

補足

録画設定は、ムービーモード切り替え時または終了時も保持されます。

■共通設定

カメラ／ムービー利用時の各種設定を行うことができます。

・**撮影モード**（☞下記）
・**画像効果**※2（☞6-27ページ）
・**保存先設定**※2（☞6-28ページ）
・**連写中割込み**※4／**録画中割込み**（☞6-29ページ）
・**撮影サイズ**※1（☞6-26ページ）
・**自動登録**※3（☞6-28ページ）
・**警告表示**（☞6-30ページ）

※1 特撮モードは利用できません。また、ムービーモードでは、ムービー写メールモード以外は利用できません。
※2 バーチャルウィッグモードのフレーム撮影時は利用できません。
※3 ハンディビデオ（MPEG）、バーチャルウィッグモードのフレーム撮影時、バーチャルトリップモードは利用できません。
※4 写メールモード以外は利用できません。

撮影モードを設定する

撮影する場所に適した色合いを以下の項目から選択することができます。
お買い上げ時は「**ノーマル**」に設定されています。

項　目	内　容
ノーマル	標準の撮影モードです。
太陽光	晴天下での撮影に適した色合いにします。
くもり	曇天下での撮影に適した色合いにします。
蛍光灯	蛍光灯下での撮影に適した色合いにします。
白熱灯	白熱灯下での撮影に適した色合いにします。
ナイトモード※	暗い場所での撮影に適したモードです。
あざやか	彩度を上げ、鮮やかな色調にします。
あっさり	彩度を落として、落ち着いた色調にします。

※ムービーモードでは設定できません。

例 写メールモードの「**撮影モード**」を設定する場合

1 次の操作で撮影モード選択画面を呼び出す

① 撮影画面（☞6-7ページ）を表示する

② [Menu]（[メニュー]）を押す

③ (◎)で「**撮影モード**」を選択し、(●)を押す

2 (◎)で設定したいモードを選択し、(●)を押す

▶撮影モードが設定されます。

重要

「**ナイトモード**」に設定している場合は、連写撮影はできません。

補 足

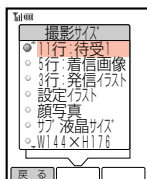
撮影モードをノーマル以外に設定中に画像効果（☞6-27ページ）を設定した場合は、撮影モードの設定は「**ノーマル**」に戻ります。

撮影サイズを設定する

写メールモードでは、撮影する画像のサイズを以下から選択することができます。
お買い上げ時は「**11行：待受1**」に設定されています。

撮影サイズ（横×縦）	11行：待受1（240×320ドット）	5行：着信画像（240×144ドット）	3行：発信イラスト（240×86ドット）	設定イラスト（182×58ドット）
メインディスプレイ				
サブディスプレイ				
撮影サイズ（横×縦）	**顔写真（104×116ドット）**	**サブ液晶サイズ（112×112ドット）**	**W144×H176（144×176ドット）**	**W120×H160（120×160ドット）**
メインディスプレイ				
サブディスプレイ				

1 次の操作で撮影サイズ設定画面を呼び出す

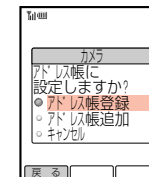
① 撮影画面（☞6-7ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押す
③ ◎で「**撮影サイズ**」を選択し、●を押す

2 ◎で設定したい撮影サイズを選択し、●を押す

▶撮影サイズが設定されます。

重 要

旅モード（☞6-16ページ）に設定している場合は、撮影サイズを11行：待受1、W144×H176、W120×H160以外に設定すると旅モードは解除されます。

補 足

- 撮影サイズ設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**11行：待受1**」に戻ります。
- 撮影後のサイズ変更については6-36ページを参照してください。
- 撮影サイズを「**顔写真**」に設定し、撮影を行ったあと画像を本体に登録すると右の画面が表示されます。アドレス帳に登録する場合は、「**アドレス帳登録**」または「**アドレス帳追加**」を選択し、●を押します。以降の登録操作は、5-3ページまたは5-27ページを参照してください。

- デジタルカメラモードの撮影サイズは、「**SXGA**」（W1280×H960）、「**VGA**」（W640×H480）から選択できます。ムービー写メールモードの撮影サイズは、「**W128×H96**」、「**W80×H60**」から選択できます。

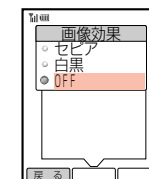
画像の色調を変更する

撮影する画像の色調を以下の項目から選択することができます。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

項 目	内 容
セピア	古い写真のように表現します。
白黒	白黒写真のように表現します。
OFF	ノーマルな状態です。

例 写メールモードの「**画像効果**」を設定する場合

1 次の操作で画像効果設定画面を呼び出す

① 撮影画面（☞6-7ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押す
③ ◎で「**画像効果**」を選択し、●を押す

2 ◎で設定したい色調を選択し、●を押す

▶画像効果が設定されます。

補 足

- 画像効果を設定中に撮影モード（☞6-25ページ）をノーマル以外に設定した場合は、画像効果の設定は「**OFF**」に戻ります。
- 画像効果設定は、カメラ／ムービーモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。

自動登録を設定する

撮影時、シャッターを押すと撮影した画像が自動的にデータフォルダに登録されるように設定することができます（ハンディビデオ（MPEG）、バーチャルウィッグモードのフレーム撮影時、バーチャルトリップモードを除く）。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

例 写メールモードの「**自動登録**」を設定する場合

1 **カメラ設定画面（☞6-20ページ）より、で「自動登録」を選択し、●を押す**

▶自動登録設定画面が表示されます。

2 **で「ON」を選択し、●を押す**

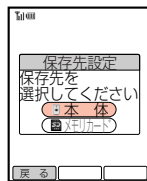
▶自動登録が設定されます。

補足
- 自動登録を「ON」に設定した場合の画像の登録先は、保存先の設定（☞下記）に従います。
- 自動登録設定は、カメラ／ムービーモード切り替え時または終了時も保持されます。

保存先を設定する

撮影した画像を登録するフォルダを設定することができます。
お買い上げ時はカメラモードは「**ピクチャー**」フォルダ、デジタルカメラモードは「**デジタルカメラフォルダ**」、ムービーモードは「**ムービー**」フォルダ、ハンディビデオ（MPEG）は「**ビデオ**」フォルダに設定されています。

例 写メールモードの「**保存先設定**」を設定する場合

1 **カメラ設定画面（☞6-20ページ）より、で「保存先設定」を選択し、●を押す**

2 **で「本体」を選択し、●を押す**

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- データフォルダには登録可能なフォルダのみが表示されます。

3 **で保存先にしたいフォルダを選択し、（決定）を押す**

▶保存先が設定されます。

重要
保存先設定をメモリカードに設定すると、連写撮影はできません。

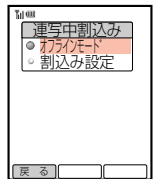
補足
- メモリカードの保存先は、カメラモードは「**ピクチャー**」フォルダ、デジタルカメラモードは「**デジタルカメラフォルダ**」、ムービーモードは「**ムービー**」フォルダ、ハンディビデオ（MPEG）は「**ビデオ**」フォルダ固定となります。
- 保存先をメモリカードに設定している場合、メモリカードを取り付けていなかったり、撮影画面以外（サブメニュー表示中や撮影後画面など）でメモリカードを取り付けたときは、一時的に保存先を本体（データフォルダ）に切り替えます。
- 保存先設定は、カメラ／ムービーモード終了時も保持されます。

連写中／録画中の割込みを設定する

連写モードやムービーで撮影中に電話、メール、ウェブの着信を禁止すること（オフラインモード）やメール、ウェブ着信の割込み方法を設定することができます。
お買い上げ時はオフラインモードが「**OFF**」に設定されています。

例 「**連写中割込み**」の「**オフラインモード**」を設定する場合

1 **カメラ設定画面（☞6-20ページ）より、で「連写中割込み」を選択し、●を押す**

- 「**割込み設定**」についてはVodafone live!編を参照してください。

2 **で「オフラインモード」を選択し、●を2回押す**

▶オフラインモード設定画面が表示されます。

3 **で「ON」を選択し、●を押す**

▶オフラインモードが設定されます。

補足
- 設定を変更しても、F24「オフラインモード」の設定は変更されません。
- 連写モードで撮影中の割込み設定を変更した場合、マルチメニューの割込み設定（☞Vodafone live!編）の「**カメラ連写中**」の設定も変更されます。
- 「**録画中割込み**」で割込み設定を変更した場合、マルチメニューの割込み設定（☞Vodafone live!編）の「**ムービー録画中**」の設定も変更されます。
- オフラインモードの設定は、カメラモード終了時、ムービーモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。
- 割込み設定は、カメラ／ムービーモード切り替え時または終了時も保持されます。

警告表示を設定する

データフォルダの空き容量が残り少なくなった場合、メインディスプレイにメッセージを表示させることができます。サブディスプレイには、アイコンのみ表示されます。
お買い上げ時は「**ON**」に設定されています。

画面表示	データフォルダの残り容量の目安
データフォルダ／メモリカードが残り少しです※1	容量が残り少なくなったとき
データフォルダ／メモリカードが残りわずかです	容量が残りわずかになったとき
データフォルダ／メモリカードが一杯です※2	容量がなくなったとき

※1　ムービーモードでは表示されません。
※2　ハンディビデオ（MPEG）では「**録画に必要な容量がありません**」と表示されます。

例 写メールモードの「**警告表示**」を設定する場合

1　カメラ設定画面（☞6-20ページ）より、で「警告表示」を選択し、を押す

▶警告表示設定画面が表示されます。

2　で「ON」または「OFF」を選択し、を押す

▶警告表示が設定されます。

補　足

警告表示設定は、カメラ／ムービーモード切り替え時または終了時も保持されます。